

pandemic と英語史

2009/04/27(Mon) の CNN の記事

Visit <http://edition.cnn.com/2009/HEALTH/04/27/pandemic.next/index.html>.

“pandemic”

a disease that spreads over a
whole country or the whole
world

“pandemic” と英語史の接点

1. ギリシャ語からの借用語
2. 14 世紀の黒死病と英語の復権
3. 言語変化は感染症に似ている

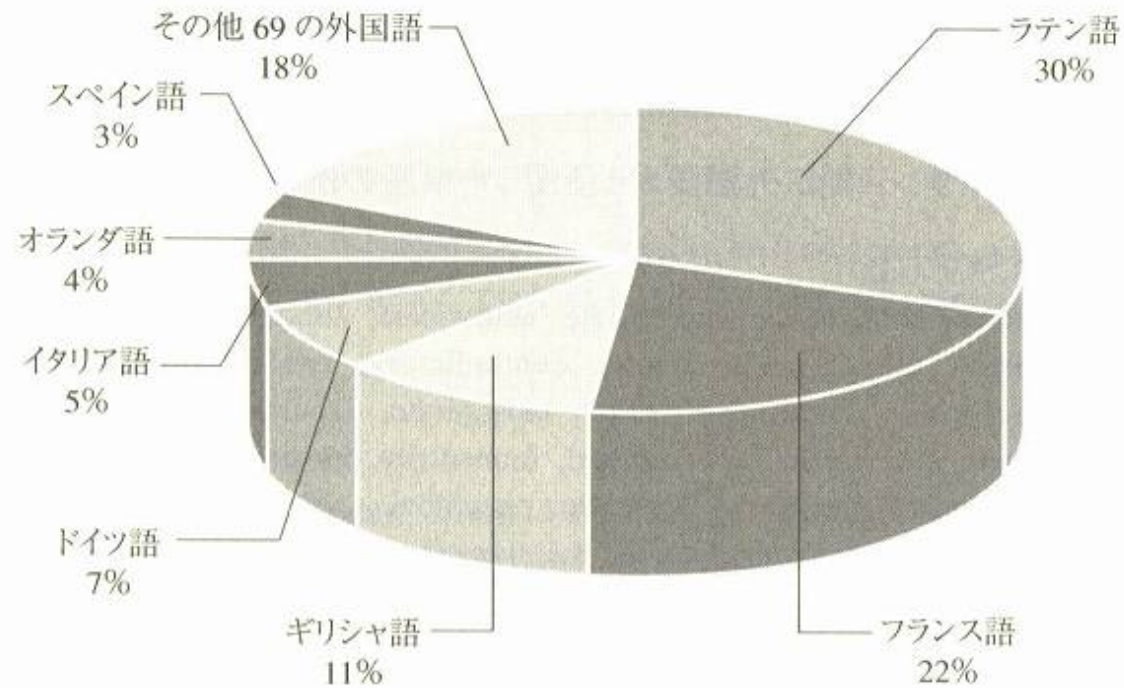
1. ギリシャ語からの借用語

pan- “all” as in *panacea*, *Pan-Pacific*

demos “people, populace” as in *democracy*, *demography*, *demon*, *epidemic*

借用語の起源と割合

現代英語の借用語の起源と割合



注：

・ Hughes (2000) が OED² をデータにして調査した統計を円グラフ化したもの

ギリシャ語の恩恵

- 近代英語期に主にラテン語やフランス語を介して
- 学術用語: *analysis, biology, economic, mathematics, system, theory*

現代における接辞の活躍

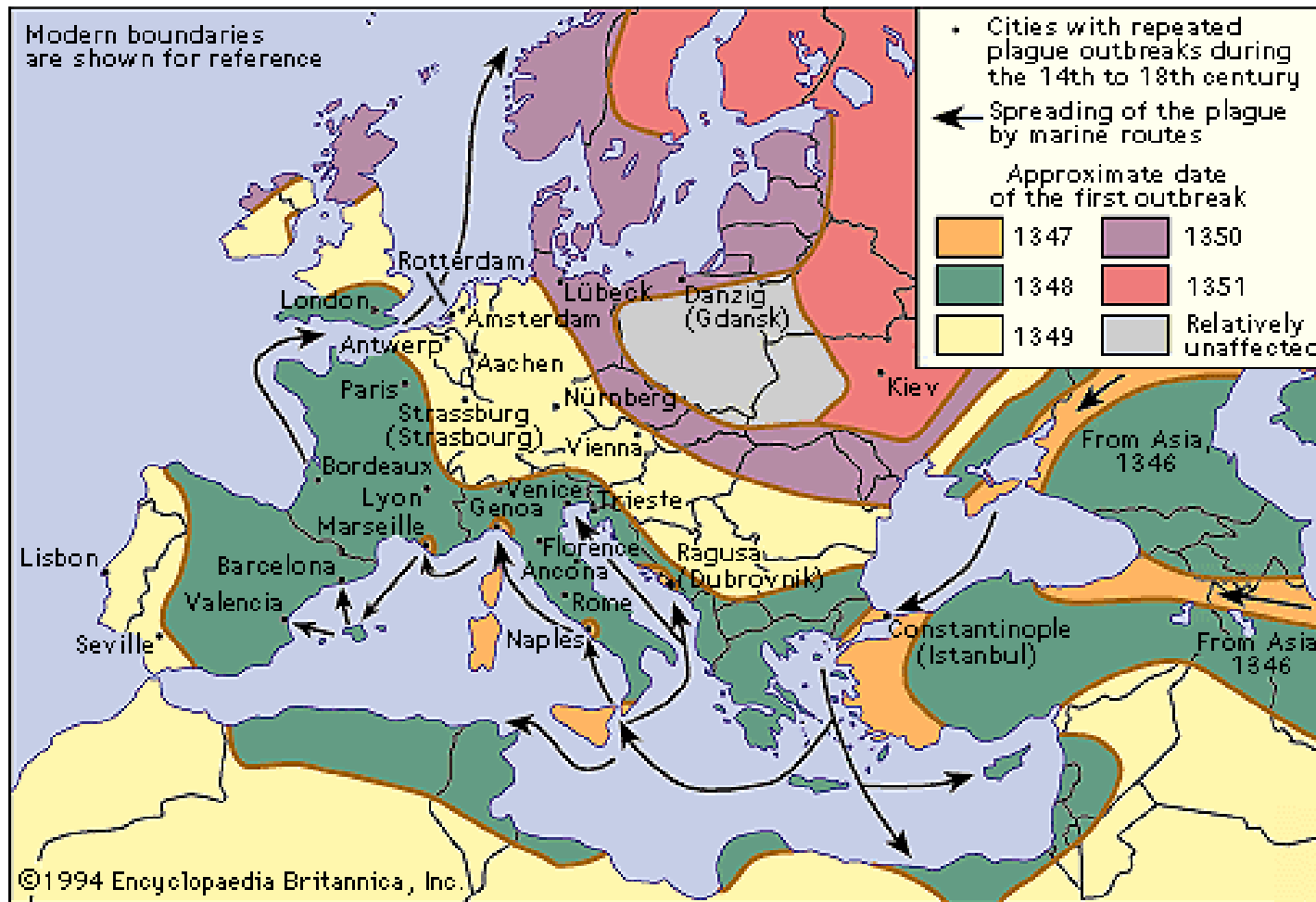
bio- “life” as in *biochemistry*,
biocomputer, *bioengineering*,
biotechnology, *biotope*

eco- “house, environment” as in
eco-friendly, *ecology*, *eco prod-*
uct, *ecosystem*, *eco-tourism*

2. 14 世紀の黒死病と英語の復権

- 11 世紀後半以降，英国王室の公用語はフランス語
- 英語は庶民の言語として地下に潜っていた
- 1347–51 年，黒死病 (Black Death) がヨーロッパで大流行

黒死病の猛威



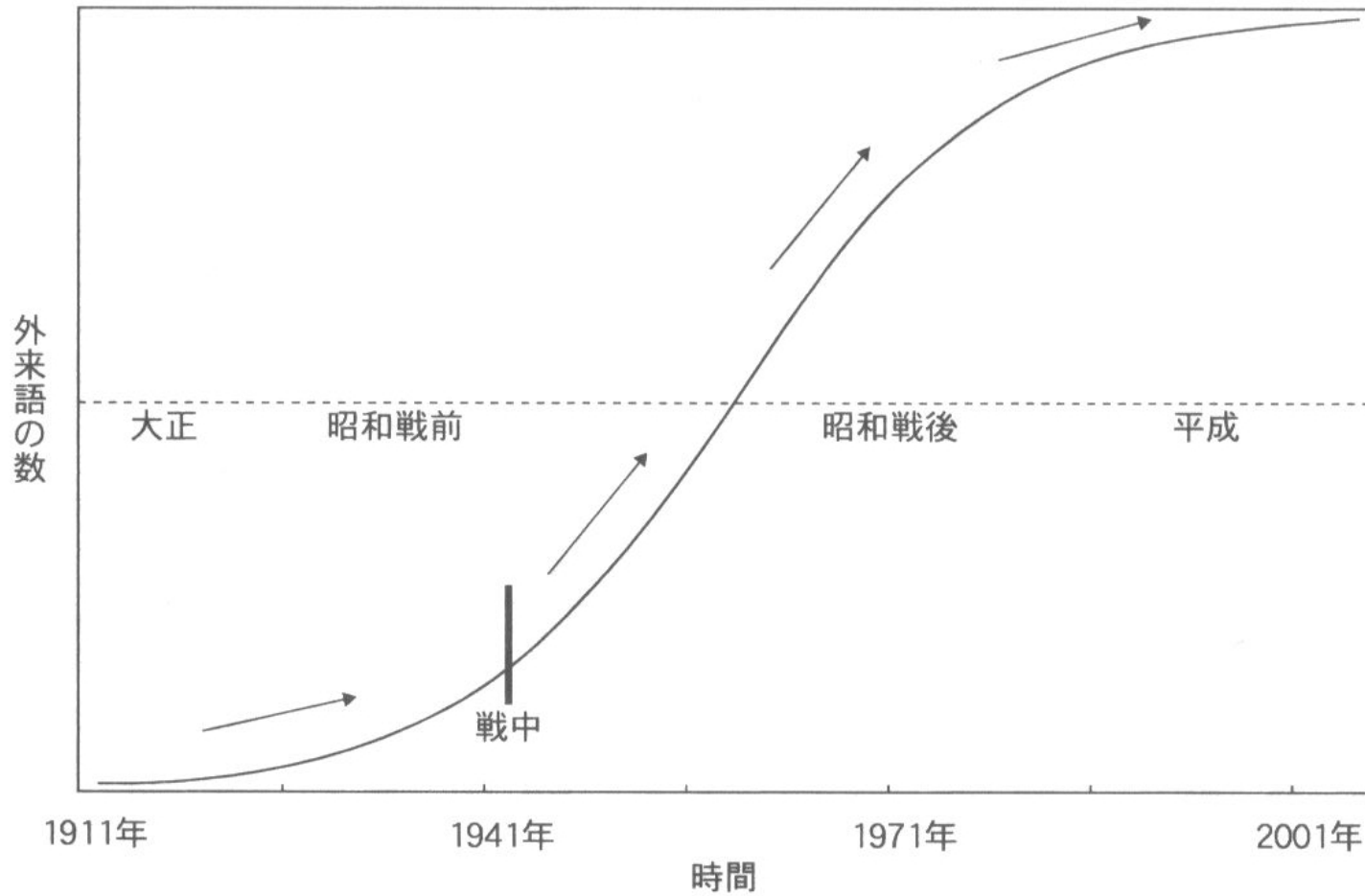
黒死病の影響

- ヨーロッパの人口の $1/3$ が死んだ
- 英国でも人口が激減
- 庶民の労働者の地位が上がり
- 英語が復権のきっかけを得た

3. 言語変化は感染症に似ている

- 感染症の拡大は直線ではなく S 曲線
- 言語変化の伝播も直線ではなく S 曲線
- 最初はゆっくり，途中で激しく，最後はゆっくり
- 坂を転がり落ちる “snowball effect”

日本語における外来語の受容



英語におけるフランス語借用の受容

